



平成 21 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 A O K I ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 青木 拓 憲
(コード番号 8214 東証・大証第一部)
問合せ先 専務取締役 中村 憲 侍
(TEL 045 - 941 - 4888)

特別損失の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 3 月期において特別損失を計上するとともに、平成 20 年 11 月 7 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社の連結子会社において店舗の収益性の低下と今後の見通しを検討した結果、当期末に連結ベースで 18 億 13 百万円の減損損失を特別損失として計上いたします。

2. 平成 21 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	132,300	8,300	9,000	3,000	円 銭 64.52
今回修正予想(B)	132,050	9,660	10,550	3,300	72.93
増減額(B)-(A)	250	1,360	1,550	300	
増減率(%)	0.2	16.4	17.2	10.0	
前期実績(平成 20 年 3 月期)	130,653	12,561	13,031	5,595	124.66

3. 修正の理由

- (1) 売上高は、下期からの急速な景気減速の環境のなかで、各事業において概ね予定どおり推移いたしました。
- (2) 営業利益及び経常利益は、各事業において、客数の確保や客単価上昇に向けた諸施策の実施、経費削減の取り組みを実施したこと等により、特にエンターテインメント事業において景気減速の影響を最小限にとどめた結果、上記のとおり増加する見込みです。
- (3) 当期純利益は、1. で記載した減損損失を含めた特別損失が予想をやや上回りましたが、営業利益及び経常利益が増加したことにより、上記のとおりとなる見込みです。

以上